

# 化工同窓会の今後について

化工同窓会 副会長 荒木祥行(36期)

平成13年3月(2001)に最後の卒業生(77期)を送り出し歴史の幕を閉じた母校ですが、大正9年(1920)の創設から数え今年は95周年にあたります。閉校後、皆様のご協力を得て新しい組織で再スタートした同窓会も、今年で14年目を迎えることができました。

しかし、皆様もすでに後承知の通り、新規会員の増加が見込めない現在、同窓会活動を継続していく上でいくつかの問題があり、このままでは数年先に運営が行き詰る懸念があります。

役員会では、改めて現状と問題点を皆様にご提示し、今後の運営につきご意見を承り、来年(平成28年)の総会までに方針を定めたいと考えております。皆様のご協力をお願い申し上げます。

## 「現状と問題点」

### 1. 会員の高齢化 現会員の平均年齢は約75歳

総会参加者 約70名 25期(本年85歳)~40期(本年70歳) 75%  
41期以降 25%

特に41期以降の新規入会者が見込めず、会員の固定化と減少。

### 2. 運営原資 平成27年3月末残高 256万円弱

年会費徴収を行っていない現在では、毎年の運営費約50万円と見積もって、永くても約5年が限度と思われます(但し、寄付は含みません)。

### 3. その他

事務局機能の維持継続。

以上

この問題につきましては、本年7月の総会にて役員会の意見を含め議題とさせていただきます。皆様におかれましても、さまざまな角度でご検討いただき、総会のご出席の上、ご意見をいただきたくよろしくお願いいたします。

※この件に関する皆様のご意見等を事務局宛お寄せください。

郵便で 〒104-0032 中央区八丁堀 4-1-4 後関ビル 5階 第一ピーアール内 化工同窓会  
FAXで 03-3523-2412 メールで [kako@our-net.co.jp](mailto:kako@our-net.co.jp)